**小学生(低)礼拝9月①**

**イスラエル民族とモーセ（出エジプト①）**

今日は「イスラエル民族とモーセ」のお話です。

イスラエル民族とは、ヤコブから生み殖えていった子孫たちのことを言います。イスラエル民族はエジプトというところで生活をしていましたが、奴隷のような生活を送っていました。しかしイスラエル民族は神様からたくさんの祝福を受けていたので、どんなに辛い仕事をさせられていても、希望を持ちながら、さらに強くなっていきました。しかしイスラエル民族がどんどん強くなっていくのをよく思わない人がいました。王様であるパロです。

パロはイスラエル民族が増えてしまうと自分が王様でいられなくなると思いました。それを恐れたパロは恐ろしいことを思いつきます。パロは、「これから男の子が生まれてきたら、すべて殺しなさい」ということです。エジプトのイスラエル民族は大変なことになりました。多くの子供の命が失われてしまいました。

そのような中、レビ族の女の人に男の赤ちゃんが生まれました。その赤ちゃんは、とても優しくて、賢そうな顔をしていました。女の人は、「このままではこの子は殺されてしまう」と思い、何とか、殺されないために隠し通しました。そして、3ヶ月が経って女の人はカゴの中に赤ちゃんを入れてナイル川に流しました。「何とか無事に生き延びてほしい」と神様に切に祈りました。

赤ちゃんを載せた籠は川に沈むことなく、ゆっくり、ゆっくり流れていきます。神様が守ってくれたのです。そして、その籠を見つけたのは、なんとエジプトの王女様でした。王女様は籠の中にいる、赤ちゃんを一目で気に入り、その赤ちゃんを育てることにしたのです。しかし王女様一人では、この赤ちゃんを育てることができません。そこで、王女様は近くにいた女の人を乳母として雇うことにしました。なんと、この女の人は、実はこの赤ちゃんの本当のお母さんだったのです。神様はこのような奇跡を起こして、お母さんと赤ちゃんを再会させました。そして、この赤ちゃんこそが「モーセ」なのです。

モーセはお母さんから神様のこと、イスラエル民族のことをたくさん学びました。そしてモーセは、王宮の中で、すくすく育ち、40歳になりました。モーセが40歳になった時、ある事件が起きます。

モーセがふと、外を歩いていると、イスラエル民族があまりにつらい仕事をさせられているのを見つけました。モーセはとても辛い気持ちになりました。自分と同じ民族であるイスラエル人を何とか助けたいと思ったモーセは、力あまって、思わずその役人を殺してしまったのです。そのことを知った王様パロはモーセのことをとても怖く思いました。そして、モーセを殺そうと考えたのです。モーセは、王様に殺される前に、王宮から逃げ出して、ミデヤンという土地にたどり着きました。その地でモーセは80歳になるまで、羊飼いとして生活をしました。

あるとき、モーセは神様の声を聞きました。「モーセよ、エジプトにいるイスラエル民族は、奴隷として苦しんでいる。あなたが、イスラエル民族をエジプトから救い出しなさい」それはモーセに対する神様の願いでした。しかし、モーセは自信がありませんでした。そんなモーセを見て、神様はモーセに、３つの奇跡を見せました。一つ目は杖を蛇に変えました。二つ目は手を懐に入れると真っ白の手になって、病気になり、また手を懐に入れると元通りの手になって病気が治りました。三つ目はナイル川の水を真っ赤な血に変えました。「この奇跡を、王様パロの前で見せなさい。そうすればきっと、王様もあなたの言葉を信じるでしょう」神様はモーセに言われました。

モーセは神様が言われたように王様の前に行き、三つの奇跡を見せました。杖を蛇に変え、病気の手を見せ、そして水を血に変えました。そして、「イスラエル民族がエジプトから離れるのを認めてほしい」と王様に訴えました。しかし、パロ王はそれを許しませんでした。モーセのいう事を聞こうとしないパロの姿を見た神様は、エジプトに十の災いを下しました。

第一の災害はナイル川の水が血に変わり川に住んでいた魚は全部死んでしまいました。

第二の災害はカエルの大群が現れました。

第三の災害はブヨの大群が現れました。このような災害が起きてもまだ、パロは、モーセと神様のことを信じませんでした。

第四の災害はアブの大群が現れました。アブに刺されると体が痒くなりどうすることもできません。

第五の災害は、家畜の動物たちが疫病にかかりました。

第六の災害は皮膚病です。皮膚病になると腫れ物ができて皮膚がただれて痒くなるのです。このように大変な災害が起きましたが、それでもパロは、モーセと神様のことを信じません。

第七の災害は、空からひょうが降ってくるのです。卵くらいの大きさの氷が落ちてくるのです。当たると死んでしまいます。

第八の災害は空が真っ黒になるくらいのイナゴの大群が現れました。イナゴはバッタの仲間ですが、草を食べるので食べ物も全てなくなってしまいました。この様な恐ろしい災害が起き、家来たちは「王様、このままではエジプトが滅びてしまいます。イスラエル人をエジプトから出してください。」と言いました。家来たちの言葉を聞いてパロの心は少し動きました。そしてモーセに「お前は誰を連れてエジプトを出るのか？」と聞きました。モーセは「イスラエル人の家族全員と全ての動物です。」と答えました。それを聞いたパロはまた心を頑なにしました。

すると、第九の災害が起こりました。あたりが、急に真っ暗になったのです。三日間、嵐がきて太陽が出ませんでした。しかし、パロはまだ頑なでした。ついに、神様は最後の災害を下します。

第十の災害はすべての初子が死んでしまいました。初子というのは初めて生まれた子供です。そして、ついに、パロの大切な子供も死んでしまい、パロはやっと神様の言葉を信じることになったのです。

そしてパロ王はやっとイスラエル人がエジプトから出ることを許してくれました。モーセは神様を信じ、くじけそうになってもあきらめませんでした。そして、どんな時でも、モーセを励まして下さっていた神様がおられました。皆さんも、どんなことがあっても、神様が私たちを見守り、あなたならできると、信じ、励まして下さっていることを忘れずに生活していきましょう！